

学び、考え、深めて、日常につなげよう

人権の尊重とは、「一人ひとりの能力を十分に発揮できる環境をつくること」です！

京都市 主催 平成24年度  
**「企業向け人権啓発講座」第1～3回 を開催**



**第1回** 定員：50名(先着順) 申込期間：平成24年5月1日(火)～平成24年5月31日(木)

**日時** 平成24年6月7日(木) 14:00～16:00  
**場所** 京都市下京いきいき市民活動センター (3階) 集会室 [下京区上之町38]  
**テーマ** 「多文化が息づく活力あるまち」をめざして  
 ～ 京都市の事業を利用して、人権研修を実施しよう！～  
**内容** 講演(1) 多文化共生と京都市の施策紹介 … 京都市総合企画局国際化推進室 職員  
 講演(2) 中国の経済・文化の紹介と日本との違いについて…張 健(京都市国際文化市民交流促進サポート事業登録者)

**第2回** 定員：70名(先着順) 申込期間：平成24年5月1日(火)～6月19日(火)

**日時** 平成24年6月26日(火) 14:00～16:30 **後援** 京都CSR推進協議会  
**場所** 京都私学会館(地下1階) 大会議室 [下京区室町通高辻上る山王町561]  
**テーマ** 「社会に信頼を築く経営」とは  
 ～ CSRを企業の社会的信頼と捉えて、関係先、特に人との信頼の構築を考える～  
**内容** [1部] 講演…「人を基軸としたCSR」 明致 親吾(京都CSR推進協議会 会長)  
 [2部] 事例発表…(1)「ダンボールの端材を子どもアートに」  
 中川 仁(株式会社 中川パッケージ 代表取締役社長)  
 (2)「乳がんのアフターケア、ピフケアの取組」  
 後呂 球穂(株式会社 ワコールホールディングス IR・広報室 CSR担当)

**第3回** 定員：36名(先着順) 申込期間：平成24年5月1日(火)～7月19日(木)

**日時** 平成24年7月26日(木) 14:30～17:00  
**場所** 京都御池創生館(地下1階) 研修室 [中京区御池通柳馬場北東角]  
**テーマ** パワハラなんか起こらない！ 職場を元気にする人権  
 ～ 一人ひとりの個性と可能性を最大限に活かし、組織力を高めよう!!～  
**内容** 講演(参加型)…竹内 良(東京人権啓発企業連絡会 専務理事。元 JFEスチール株式会社 人権啓発室室長)

詳細につきましては、京都市人権文化推進課のホームページ↓から、企業啓発担当を御覧ください。  
 URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/soshiki/6-2-3-0-0.html>

**申込方法** 京都市人権文化推進課 もしくは、そのホームページ(企業啓発担当) から入手した申込書に  
 必要事項を御記入のうえ、FAXで申し込んでください。  
**FAX (075)366-0139** (お問合せは、TEL (075)366-0322 ★ へ)  
 ※定員を超えた場合は、その旨をホームページに掲載し受付を終了しますので、あらかじめ御了承ください。

御来場の際は、公共交通機関を御利用ください。  
 (障害により自家用車での来場を必要とされる方は、お手数ですが、★へ御連絡をお願いいたします。)

「企業向け人権啓発講座」の講演録等を京都市人権文化推進課ホームページ(企業啓発担当)にて公開  
 していますので、御参照ください。

**<人権啓発サポート制度>** 京都市人権文化推進課 TEL (075) 366-0322  
 市民の皆さんや会社などのグループで、人権に関する研修を行われる際に、実施方法やテーマ選定の  
 相談、講師の派遣、ビデオパネルの貸出し、資料の提供などを行っております。  
 お気軽に御相談ください。



【個人情報の取扱いについて】 いただいた個人情報は、京都市個人情報保護条例に基づき、他の目的には一切使用しません。

「人権情報誌あい・ゆーKYOTO」vol.46と「企業向け人権情報誌ベーシック」vol.58の合併号(2012年5月発行)  
 発行者 京都市文化市民局市民生活部人権文化推進課 TEL(075)366-0322 FAX(075)366-0139  
 〒604-8006 京都市中京区河原町通御池地下下丸屋町394番地 Y・J・Kビル3階  
 URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/soshiki/6-2-3-0-0.html> (「市民啓発担当」「企業啓発担当」)  
 ※この情報誌は、ホームページでも御覧いただけます。また、市役所案内所、区役所・支所地域力推進室、市立図書館ほかで配布しています。

わたしとあなた…。それぞれが「愛」と「優」の心をいつも大切に。おたがいを認め、支え合うまち・京都を。

人権情報誌 Vol. **46**  
 2012.5



憲法月間の  
 5月は  
 “合併号”



●輝きピープル  
 タレント・山形弁研究者  
**ダニエル・カール**さん  
 人が人を思いやるのは当たり前

●特集  
**第5期 京都市民長寿すこやかプラン**

●「我ら、企業市民」(企業インタビュー)  
**33 株式会社 聖護院ハッ橋総本店**  
 受け継いだ伝統と文化を守り、  
 企業が地域と手を携え、  
 より良い社会を次世代に引き継ぐ

●気づきの旅ものがたり II





# 人が人を思いやるのは 当たり前

タレント・山形弁研究家  
ダニエル・カールさん

山形弁を話すアメリカ人として、テレビや雑誌などでもおなじみのダニエル・カールさん。来日35年、東北をこよなく愛するダニエルさんにとって、昨年3月11日に発生した東日本大震災は、まさに“わが身”に起きたことでした。そのため、震災直後からツイッターなどで、被災者や在日外国人のための情報を発信し、道路が通じると、自らトラックを運転し、被災地に必要な物資を届けるなどの活動を展開しました。どんなときでも「人が人を思いやるのは当たり前」というダニエルさんに、日本との縁や東北復興への思いなどを語っていただきました。

## \* 1200年前の建物が近所?!

私が日本に来たきっかけは、子どもの頃にやっていた空手です。自分の身体に合うスポーツだったので、「空手の本場、日本に行こう」と思い切ったのです。そこで昭和52年に、交換留学生として奈良県の智弁学園に1年間滞在しました。

来日するまでは、日本人はみんな着物を着て、刀を差して、チョンマゲを結っているというイメージがありました。30年も昔で、まだ情報も十分ではない時代です。

でも、実際は全く違って、予想外のモダンな生活に「ここは本当に日本なのか」と思いました。そのときに感じたのが、お寺や神社といった歴史的な建物や伝統といった古き良きものを守りながら、かつ新しいこともうまく取り入れて生活しているのが日本の魅力の一つなんだということでした。

印象的だったのは、最初に住んだ奈良の家の近くに、1200年前の建物があつたこと。最初はそんなにも昔の家があることが信じられなかったんです。当時アメリカは、建国200周年を迎えたところだったので、自分の国より6倍も古い建物が、近所にあるということに驚き、日本はすごいと思いました。そして大学時代に再び来日し、京都にも平成元年11月から翌年の1月ま



で、二尊院にホームステイしました。大学を出て再度日本に戻り、山形県で英語指導主事助手をしたことから、少しずつ東北の方々と縁が深まっていきました。

## \* 地震情報を2,3分おきに英語で発信

昨年の3月11日の地震が起きたときは東京にいました。テレビのニュースで家が流されていくのを見て、自分の家が流されるような気持ちになり、これは何とかせねばと強く思いました。

そこでまず、英語で地震情報を2,3分おきに「ツイッター(Twitter)」(\*1)で流しました。最初の1週間は情報が不足していたうえ、言葉が分からない在日の外国人はパニック状態に陥りやすいからです。携帯電話は通じなくなっていたのに、ツイッターはうまく通じたんですね。

一番心配したのは、また津波が起きるのではないかということ。だからとにかく、高台に逃げなさいと書き込みました。その後は避難情報です。山形県庁と連絡を取って、交通情報を調べ、逃げ道を決めてから、山形県や日本海側に行くバスが出ている郡山駅や福島駅に集まれと書き込みました。南方面には行けませんでしたからね。

災害のとき、衣食住の次に必要なのは「情報」。これは日本人も外国人も同じです。通信、交通、停電関係のニュースをツイッターで次々に送りました。憶測やうわさなど“色のついた”情報はなく、ありのままのストレートな情報です。

震災後1週目の後半ぐらいだったかな、外国人の友人から「関西に逃げたいいいか?それとも九州か?」という電話が突然入りました。最初、何のことか分からなくて聞き返すと「外国のニュースで「あの辺り(福島県)の人はみんな死ぬ」と言っているよ」と話すのです。

驚いて海外のテレビニュースを見たら、外国から現地取材に来たばかりのリポーターが、新宿の高層ビルを背景に「私は今、福島原発のすぐそばにいます」とか言っているのです。これでは間違った情報が逆輸入されると危機感を抱きました。

日本語のできない在日外国人は、情報源を海外からのニュースに頼るしかありません。なのに、こういう災害直後に無責任に恐怖感をおおるような報道を流すのは許しがたかったです。

それで今度は、YouTube(\*2)を使って「ストップ・ザ・ヒステリア」、「大げさな報道はやめろ。誤報に惑わされず、冷静になろうよ」というメッセージ動画を配信することにしたのです。

- \*1) 140文字以内の短い投稿文を入力してみんなで情報を共有する無料のインターネットサービス。
- \*2) インターネット上で動画を自由に投稿、閲覧できるサービスの一つ。会員登録すれば誰でも動画ファイルを世界に公開できる。

## \* 東北の人々の頑張りを支えるために

今回の震災で、私が心配しているのは、国内で風評被害による福島県民に対する差別が起きることです。

今、日本の中でも原発反対運動が起きていますが、その中で福島原発事故を取り上げて、放射線の数値がそれほど高くないという事実がある場合でも、福島は危ない、というように、必要以上に不安をおおる発言をする人がいます。

でも、その発言で福島県民はどうなるのでしょうか。広島、長崎の被爆者は何十年にもわたって結婚や就職で差別を受けた歴史があります。差別は、一度始まったら取り消すのは大変なことなのです。

世界的にも「フクシマ」という言葉が原発事故の代名詞としてこれからの歴史に残っていくでしょう。今、フクシマと聞いただけで「行く所じゃない」という外国の人もいます。

しかしそういう発言をする人たちが、福島県がどれぐらい広いところか正しく把握しているとは思えません。例えば会津地方も福島県ですが、避難者を受け入れており、放射線の影響はないと言えます。また、南相馬市の人は当初山形市や米沢市に避難しましたが、今は少しずつ戻ってきています。それは放射線がほとんど検出されないからです。冷静に数字で判断してほしいのです。

東北は元々冬が厳しく、山が多くて平地は少ない、人口密度も低いので若い人は村を出て都市で働き、残っているのは高齢者ばかりです。それが震災後は、若い人たちが「おら、復興のために踏ん張るわ」と自ら決心して地元で頑張っています。自分のふるさとの市町村のために、仮設住宅に住みながらでも構わないから踏ん張り張りたいんだと。その頑張りを支えるためには、地元の産業が活性化しなければなりません。若い人たちがいくら頑張ってもモノを作っても、そのモノが売れないようでは前に進めません。

ですから、皆さんには福島県も含めて東北のものをなるべく買っていただくことで、復興の手助けをしていただきたいと思います。私も宣伝の側で力を入れています。京都の皆さん、是非とも東北のものを選んでね!



支援活動中のダニエル・カールさん

**プロフィール** **ダニエル・カールさん**  
1960年生まれ。アメリカ合衆国カリフォルニア州出身。タレント、山形弁研究家、ユーモア豊かなサービス精神と、3年間の山形県での生活で鍛えた山形弁でテレビ、CM、講演など幅広く活躍。  
「おいしい山形大使」(山形県)、「おもしろな観光大使」(米沢市)など地域振興も担当。「ダニエルさん家のアットホームイングリッシュ」(ビジネス社)、「オラが心の日本アメリカ」(NHK出版)、「ダニエル先生ママガタ体験記」(集英社文庫)など著書多数。  
公式HP <http://www.domos.jp/>

## 書籍プレゼント 「ダニエルさん家のアットホームイングリッシュ」を差し上げます

ダニエル・カールさんのサイン入り書籍「ダニエルさん家のアットホームイングリッシュ」を2名様様にプレゼントします。ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号と「あい・ゆー・K・Y・O・T・O」へのご感想、ご意見等(必須)をお書きのうえ、6月1日(金)(当日消印有効)までに下記へお送りください。抽選結果の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
〒604-8571 (住所不要)  
京都市人権文化推進課「あい・ゆー・K・Y・O・T・O」Vol.4 6 書籍プレゼント係まで



# 特集 第5期 京都市民長寿すこやかプラン

～魅力あふれるこのまちで 地域の絆でつながり 幸福を実感できる高齢者を みんなの力で～

京都市では、高齢者福祉施策を総合的に推進するため、平成24年度から26年度までの3年間を計画期間とする「第5期京都市民長寿すこやかプラン」を策定し、取組を進めています。

## 1 プランの概要

### 基本理念

高齢者一人ひとりが、自らの意思に基づき、住み慣れた地域でいきいきと健やかに暮らせる【健康長寿のまち京都】をみんなでつくる。

### 政策目標

- ①高齢者の尊厳が保たれ、心身ともに健康で充実した『幸』齢期を送ることができるまち
- ②高齢者の知恵や経験、技能を生かし、活力ある長寿社会が実現されるまち
- ③地域力を生かした高齢者を支えるネットワーク構築の推進により、安心して生活ができるまち
- ④介護サービスの充実によって、そのひとらしい豊かな生活ができるまち

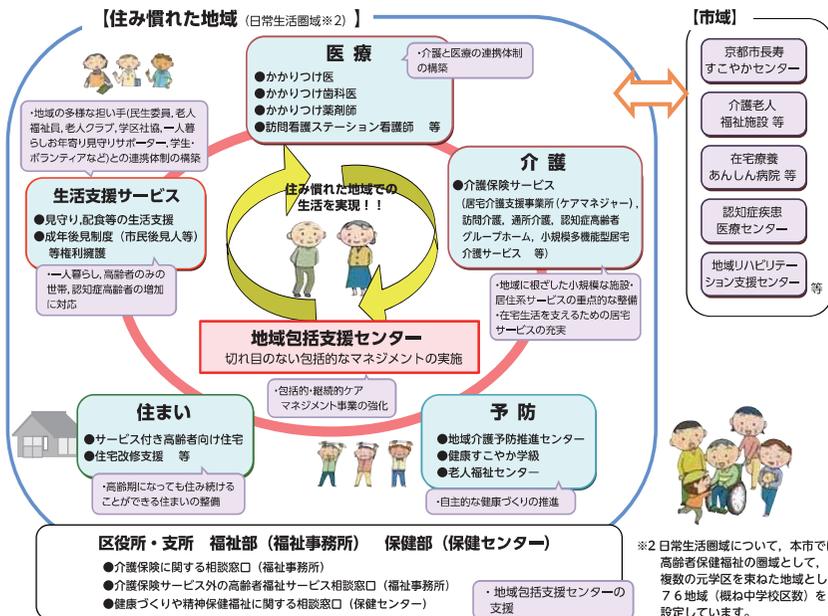
### 地域包括ケアの推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための仕組みである「地域包括ケアシステム(※1)」の構築に向けた取組を進めます。

※1 地域包括ケアシステムとは

ニーズに応じた住宅が提供されることを基本としたうえで、生活上の安全・安心・健康を確保するために、医療、介護、予防、福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが、日常生活の場で切れ目なく提供される地域での体制

## 京都市版地域包括ケアシステムのイメージ



## 2 重点課題及び主な施策

基本理念及び政策目標を実現していくため、本プランにおいては、四つの重点課題の下に掲げた170項目の施策・事業を着実に推進していきます。

### ①世代間相互の理解の促進と認知症をはじめとする要介護高齢者支援の推進

- 【主な施策】**
- ・高齢者どうしや世代を超えた交流ができる身近な居場所づくりの推進<新規>
  - ・成年後見制度の利用支援と専門職後見人以外の後見人の確保<新規>

目標指標	24年度	25年度	26年度
居場所設置数(箇所)	110	166	222
成年後見支援センター(仮称)利用者数(人)	520	570	630

### ②生きがいくつりと介護予防の推進

- 【主な施策】** 二次予防事業(※3)対象者向けの介護予防サービスの提供

目標指標	24年度	25年度	26年度
二次予防事業参加者数(人)	1,437	1,725	2,026

(※3 「介護予防のための基本チェックリスト」の基準に該当した方を対象に、要介護・要支援状態になることを予防するための事業)

### ③高齢者の地域生活を支える体制づくりの推進

- 【主な施策】** 地域包括支援センターの適切な運営と関係機関との連携

目標指標	24年度	25年度	26年度
地域包括支援センター相談件数(件)	263,700	276,900	290,800

この度京都市では、地域包括ケアシステムの中心を担う地域包括支援センターについてより多くの方々に知っていただくために「愛称」と「シンボルマーク」を公募し、決定しました。

愛称 **「高齢サポート・〇〇」**

(〇〇には「御池」や「本能」等のセンター名が入ります。)

シンボルマーク



### ④安心して暮らせる介護・福祉サービス等の充実

- 【主な施策】**
- ・要介護高齢者の在宅生活を支えるための居宅サービスの充実
  - ・地域に根ざした小規模な施設・事業所を中心とした、施設・居住系サービスの整備促進

目標指標	24年度	25年度	26年度
小規模多機能型居宅介護(人)※4	8,840	11,080	13,320
定期巡回・随時対応型訪問介護看護(人)※4	400	800	1,200
介護老人福祉施設(うち地域密着型介護老人福祉施設/人分)※5	5,085(272)	5,233(330)	5,536(533)
認知症対応型共同生活介護(人分)※5	1,225	1,486	1,756

(※4 各年度における利用量見込み ※5 各年度における整備等目標数)

これからも進展する少子長寿社会への対応は私たち共通の課題です。高齢者がすこやかに、自分らしくいきいきと暮らせるまちを実現していくためには、これらの施策と共に、私たち一人ひとりが高齢者のことについて正しい理解と関心を持ち、尊厳が守られるよう努めていくことが大切です。

問合せ先

このページの内容について、詳しくは、京都市保健福祉局長寿福祉課  
(TEL:251-1106 FAX:251-1114) へお問合せください。

# 我ら、企業市民

33

株式会社  
聖護院ハッ橋総本店の場合



## 受け継いだ

### 伝統と文化を守り、 企業が地域と手を携え、 より良い社会を 次世代に引き継ぐ

創業323年、株式会社聖護院ハッ橋総本店は、創業の精神に則った積極的な障害者雇用も続けておられます。左京区の本社をお訪ねし、代表取締役社長の鈴鹿且久さん、総務部(宣伝装飾担当)の木全正則さん、製造1課の古味幸子さんにお話を伺いました。



左から、鈴鹿且久さん、古味幸子さん、木全正則さん

## ■社名はハッ橋検校に由来。ハッ橋をベースに新商品も 企業概要

当社の社名「聖護院」は地域名。「ハッ橋」は、江戸時代に琴の演奏家・作曲家として極め、「検校」という目に障害がある方の最高官位に就かれたハッ橋検校に由来し、ハッ橋検校が亡くなられた4年後の元禄2(1689)年に、その遺徳を偲び琴の形に似せて作った焼菓子や「ハッ橋」と呼んで売出されたことに始まると伝わります。今も、昔ながらの製法、技術と、「お客様が口にされるもの」という厳しい思いを大切に引き継ぎ、ハッ橋一筋に営んでおります。また、生ハッ橋をベースに、千支やハートの形、桜など季節感のある生菓子や、薄くのぼしてスティック状に巻いた焼菓子の販売など新しいものへも積極的に挑戦し、昨年3月には、新たなハッ橋の店「nikiniki(ニキニキ)」を下京区にオープンしました。



ハッ橋は今も手作業を履いており、焼き方50年というベテランも



新店舗では作り立ての美味しさや組み合わせを遊び楽しさを

社員一同、召し上がるお客様の顔を思い浮かべながら商品を作っています。若い方をはじめ幅広い層のお客様から好評をいただいております。商品を通して気持ちもつながるのだと感じています。

## ■社員や取引先など関わる方々との信頼を大切に 経営理念

「聖護院ハッ橋」の菓銘のいわれを伝える時には、ハッ橋検校を思い起こし、おかげで現在があるということをお伝えしています。現在、約180名の社員のうち約1割の14名が障害のある方たちです。採用に関しては、枠にとらわれず、本人とお会いして判断します。知的や聴覚、足に障害のある方が職場の戦力として働いておられ、社員全員が日々の営みや暮らしの中で、人の「和」やお互いへの優しさを学び育てております。障害のある方の就労については、継続することが課題と言われますが、当社では離職された方はおられません。40年近く勤務しているダウン症のある男性社員は、ハッ橋の材料を練る機械操作では一番のベテラン。会社に欠かせない存在です。

挨拶にはじまり、まず人の話を聴くということを基本に、一人一人の働き心地を何よりも大切にしている職場づくりを日々心掛けています。話すことが苦手だった女性社員も今では明るくなり、職場が好きで、仕事が終わってもなかなか帰りがりません。それぐらい、皆のコミュニケーションがとれている楽しい職場になっているのだと思っています。

当社の経営は、拡大を目的とするのではなく「長く続ける」を一番に考え、ある時は膨らみ、ある時は縮める「ちようちんのような経営」です。この心掛けがなければ、会社を支えてくれる社員とその御家庭は続いていきませんが、また、昔からの取引先のおかげで、震災の影響で原材料が不足するということはありませんでした。被災地へ、甘いものでひととき心身を安らげていただきたいと、組合など各団体や京都商工会議所等と協力して、ハッ橋をお届けすることもできました。

当社の強みは、長く続ける営みを支えてくれる社員や取引先など関わる方々の存在です。これからも、皆さんとの信頼関係によって築く経営という伝統を守り、互いに支え合い、より多くの方々に愛され、親しまれる商品を心を込めて作ってまいります。



もちろん厳しいこともありますが、皆で仕事することが楽しいという環境を継続できるように努めています(木全さん)

## ■皆が活躍できる社会に向けて 他団体などとの連携

当社は、総合支援学校生徒の進路開拓を目指して、総合支援学校、京都市、ハローワークなどが平成6年に立ち上げた「巣立ちのネットWORK」の代表として、障害のある方の「働きたい」という思いを実現すべく様々な取組をしています。平成18年には、企業約20社と総合支援学校、経済団体等の関係機関と共に、学校での授業と企業での実習を組み合わせ、人材の育成と開発を目指す「デュアルシステム推進ネットワーク」も立ち上げました。このシステムを活用し、障害のある方を雇用される企業も出てきています。法律で決められているからではなく、障害のある方の自立という社会的課題の解決のためにも、企業自身のためにも、まずは一人から実習を受け入れ、知りあっていたいと思っています。



長く続いていくためには、大切なものを失わない強さを持つことです(鈴鹿社長)

工場内の風景



本店外観

当社にも、白河総合支援学校の先生が飛び込みで実習の依頼に来られ、先生が工場まで来て一緒にハッ橋を缶詰に詰める作業をされている姿を拝見し、その情熱に感銘を受けました。また、雇用後もアフターケアということで、先生が来られて声掛けをさせていただくことが、卒業生にとって大きな励みになっていますし、課題が生じたときなどは、御家庭とも協力し、一丸となって解決に当たっております。

## ■京都の良き伝統と文化を発信する 次世代への継承

当社は、ハッ橋を通して、京都の伝統や文化を発信していくことも使命だと思っており、学校の社会見学会も積極的に受け入れています。京都市内だけでも年間約10校、全国からの修学旅行生も合わせると年間100組ぐらいの見学会があります。



見学会

一昨年4月には、学研の「まんががよくわかるシリーズ」の1冊として「ハッ橋のひみつ」が出版されました。修学旅行で京都に来た小学生が、ハッ橋の歴史や作り方を学んでいく中で、京都の伝統や文化にも触れるというストーリーです。小・中学生が対象ということでしたので、「本当の京都」を伝えたいという思いがあり、本を通してハッ橋やものづくりの心はもちろん、背景にある京都の文化や歴史への関心が高まればと、協力させていただきました。

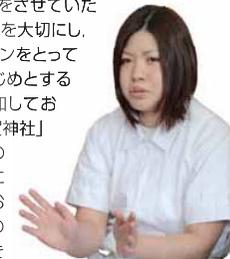


学校でも読んでいただいているようで、来店された子どもさんが親御さんに、「ハッ橋はうるち米で出来てるんだよ」と説明されたり、登場人物が実在の社員に似せて描かれていることから、見学に来られる修学旅行生からも「漫画に出てきた人や!」と、こちらの説明にも親近感を持って聞いてくれます。

時代に流されず、良いものは変えないで守り、伝えられてきた伝統や文化が次世代に受け継がれていけばと思います。

## ■地域の発展があってこそ企業の発展がある 持続可能な社会へ

当社は、ずっとここで商いをさせていただけの感謝の心と共に、地域を大切に、しっかりとコミュニケーションをとっております。体育祭などをはじめとする地元行事へも積極的に参加しておりますし、氏神でもある「須賀神社」のお祭りでは、社員が神輿の組立てから関わり、餅つきには当社の餡を御提供しております。先代からも「地域のお役は務めさせていただきなさい!」と言われてまいりましたので、会社としても社員がボランティア等の地域貢献活動へ参加しやすい環境づくりに努めています。



意見や提案を受け入れてもらえるので、ハッ橋の可能性を、皆で更に広げていきたいと思っています(古味さん)

平成16年には財団法人労働者リフレッシュ事業財団から「ワンモアライフ労働者ボランティア賞」の「ナイスアシスト賞」を頂戴いたしました。企業として、関わる方々や地域の発展のために当たり前で地道な活動を行ってきただけなのです。障害のある方の雇用をはじめ、何か特別なことをしているとは思っていません。「転んでいる人がいれば、手を差し伸べる」という、ごく当たり前の行為を、企業としても続けているだけです。

これからも、地域の皆さんと手を携え、被災地の一日も早い復興と、ハッ橋を通して人や自然、ものを大切に作る京都の良き伝統や文化を後世に正確に伝え、関わる全ての皆さんに、その魅力を五感で味わっていただくことができる豊かなまちづくりに貢献していきたいと、社員一同、思いを強くいたしております。

# 気づきの旅ものがたり II

京都には、国内外から様々な人々が集い、時に差別や抑圧を受けた人々も共に支え合い、築いてきた歴史があります。そのような歴史にゆかりの深い場所を訪ね、改めて人権の大切さに気づき、学び、考えられるような「旅」をご紹介します。今号は京都市営地下鉄東西線と京都市バスを利用して巡るコースです。(※)

案内役は今回も世界人権問題研究センターの「ボランティア人権ガイド」の方です。新緑の季節、ご家族やお友達と、人権をテーマに京都のまちを歩いてみませんか。

(※)本誌44号(2011年12月発行)の「気づきの旅ものがたり」では京都市営地下鉄烏丸線の沿線にあるスポットを紹介しています。併せてご覧ください。

## 今回のガイド役・細田茂樹さん

定年退職後、好きな歴史を生かし、京都の役に立ちたいと「ボランティア人権ガイド」になって5年目の細田さん。「表舞台に名前が残る人だけではなく、色々な立場の人が、時に差別の中で様々な働きを担っていた歴史も伝えたい」と人権の視点から見る「京のまち」を紹介されています。



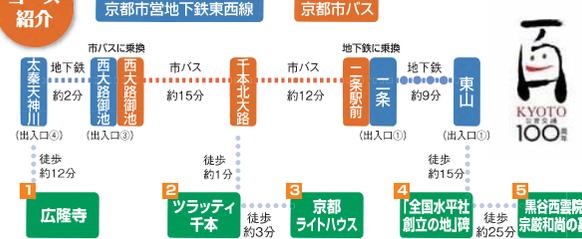
**A**

- 1 広隆寺 (Hirokoji Temple)
- 大きな南大門(仁王門)を目印に。
- 木蓮神社の別名。境内に機織や養蚕の技術を伝えた秦氏建立の養蚕神社があるため、そう呼ばれる。
- 太子道
- 天神川
- 右京区総合庁舎

**コース全体図**

1 広隆寺  
2 ツラッティ千本  
3 京都ライトハウス  
4 「全国水平社創立の地」碑  
5 黒谷西雲院開基宗庵和尚の墓

## コース紹介



\*一日乗車券(市バス(大人500円)、地下鉄(大人600円))やトライフ리카ードなどのお得な乗車券もありますので、是非ご利用ください。

**C**

- 2 ツラッティ千本: 当時の様子を伝える模型や写真、生活用具などを展示。
- 3 京都ライトハウス: 視覚障害者の教育と福祉を担う総合施設。
- 4 「全国水平社創立の地」碑: 大報恩寺の遺跡。おかめの物語で知られる。
- 5 黒谷西雲院開基宗庵和尚の墓: お墓は西雲院の門前、右手にひっそりと建てられている。

丸太町通、二条通、東大路通、今出川通、北白梅町駅

**公益財団法人 世界人権問題研究センター**

平安建都1200年を記念して設立された、人権問題を総合的に研究するアジア初の専門機関。「人権大学講座」、「講座・人権ゆかりの地をたずねて」などの講座のほか、人権の視点から京都の旧跡を案内する「ボランティア人権ガイド」の派遣事業などを行っています。ガイド派遣の申込みは、同センターで受け付けています。

住所 中京区錦小路通室町西天神山町290番地1  
TEL (075)231-2600  
FAX (075)231-2750  
ホームページ <http://www.mmj.or.jp/jinken/>

今回ご紹介している1~5のスポットのほか、★の所なども人権にゆかりのある場所です。少し足を伸ばして訪ねてみてはいかがでしょうか。

**1 広隆寺**

「日本書紀」によると、広隆寺は603年、聖徳太子から譲り受けた仏像をまつため、薬師(あけ)によって建立されました。秦氏は5世紀後半に朝鮮半島東部の新羅から渡来した氏族で、高度な技術力と豊富な経済力を持っていたため、葛野大塚を築いて畿内野一帯を開拓し、養蚕や機織などの新しい技術を伝えました。

ガイドさんのひとくちコメント  
霊宝殿にある国宝「弥勒菩薩半跏思惟像」は、韓国の国宝「金剛弥勒菩薩半跏像」に似ており、古代の朝鮮文化の伝播をうかがえます。昔から日本と朝鮮半島との間で深い交流があったことを伝える仏像です。

拝観時間 9:00~17:00 (12月~2月は16:30まで)  
料金 一般700円 (霊宝殿) 高校生500円 小学生400円  
☎(075)861-1461



**2 ツラッティ千本**

千本地域では、明治時代に被差別部落の人々によって学校や病院が建設され、全国水平社の初代委員長もこの地から選出されました。近年は住民が主体となったまちづくりの取組も進められています。ツラッティ千本は、同問題をはじめ広く人権問題を学ぶ場として、地域の歴史やまちづくりの様子を紹介する施設です。

ガイドさんのひとくちコメント  
室町時代、この地の「河原者」と呼ばれる人々が御所に献上される梅の木を世話していました。館内に展示されている絵本「千本の赤」は、厳しい差別の中で、たくましく生き抜いていた当時の人々の様子を伝えます。

時間 10:00~16:30  
料金 無料  
開館日 日・月・祝・年末年始  
☎(075)493-4539



**3 社会福祉法人 京都ライトハウス**

初代館長 島后菊治郎を中心に、「京都に盲学生のための京字図書館」という多くの願いから1961年に設立、自らも目に障害がある篤治郎は、障害のある人が能力を発揮できる社会を目指し様々な活動に取り組み、同年京都府名譽市民として表彰されました。ライトハウスは英語で「灯台」の意味。視覚などに障害のある人々を明るく照らし支える大きな役割を担っています。

京都ライトハウスよりコメント  
同館では京字図書館をはじめ、乳幼児の教育から養老老人ホームまで幅広い総合的なサービスを提供。2004年度に新しくなった施設内では、障害のある人がそれぞれの目的に応じて明るくいきいきと活動されています。

<http://www.kyoto-lighthouse.or.jp/>  
☎(075)462-4400  
\*館内の各事業所・施設によって開館日時は異なります。



**4 「全国水平社創立の地」碑**

今から90年前の1922年3月3日、岡崎にあった京都市公会堂に差別や偏見から立ち上がった全国の被差別部落の人々が集まり、全国水平社の創立大会が開かれました。「人の世に黙あれ。人間に光あれ」と掲げられた創立大会の宣言は、日本最初の人権宣言とも言われています。この碑は1982年に水平社創立60周年を記念して建立されたものです。

ガイドさんのひとくちコメント  
碑に刻まれた宣言文から、差別や偏見に苦しんできた人々の苦悩と誇りが強く感じられます。京都会館の奥に、日本初の人権宣言が行われた地があることをこの機会にぜひ知ってください。



**5 黒谷西雲院開基宗庵和尚の墓**

豊臣秀吉が大軍をもって朝鮮半島に攻め入った文禄・慶長の役(朝鮮では壬辰・丁酉倭乱)では、多くの朝鮮人が日本に捕虜として連行されました。京都の人々に「くらだにさん」と親しまれている金戒光明寺の塔頭の一つ、西雲院の開基である宗庵和尚も捕らわれた少年の一人です。

ガイドさんのひとくちコメント  
捕虜のうち、後に朝鮮通信使と共に帰国した人は約7,500人で、数万人が日本で生涯を終えたと言われています。連行された少年が苦勞し、修行を重ねてお寺を開いた歴史は私たちに多くのことを教えてくれます。

黒谷西雲院  
☎(075)771-3175



参加してね!

## お知らせ

※特に明記のないものは無料です。

### 講演会等

#### 伏見区人権啓発推進協議会公開研修会

**日時** 5月24日(木) 14:00~16:00  
**会場** 伏見区総合庁舎 4階大会議室  
**内容** テーマ: 犯罪被害者について考える  
 講師: 武るり子さん(少年犯罪被害当事者の会)  
 約100名  
**定員** 約100名  
**お問合せ** 伏見区役所地域力推進室  
 ☎611-1144 FAX 611-0634

#### 下京区憲法月間「人権を考えるつどい」

**日時** 5月25日(金) 14:00~16:00  
**会場** 池坊学園 こころホール  
**内容** テーマ: 元気が出る地域活性化ミュージカル落語  
 講師: 三遊亭 亜郎さん(ミュージカル落語家)  
**定員** 約200名  
**お問合せ** 下京区役所地域力推進室  
 ☎371-7170 FAX 361-8893

#### 育児休業パワーアップ講座

**日時** 6月12日・26日・7月10日  
 隔週火曜日10:00~13:00  
**会場** 京都市男女共同参画センター ウィングス京都  
**内容** 育児休業中の悩みや復職への不安を仲間と共有し、安心で充実した生活を送るために、自分らしいワーク・ライフ・バランスを探ります。  
 ※育児休業取得中もしくは取得予定の女性、また現在妊娠中の方やすでに復帰されている方も参加できます。  
**定員** 20名  
**料金** 1,500円  
**事前申込** 5月29日(火)までにウィングス京都ホームページの申込フォームまたはメール・FAXにてお申込みください。保育(1回800~1,000円)を希望の場合も同様に事前申込みが必要です。  
 URL <http://www.wings-kyoto.jp/event/apply/>  
 E-mail [jigy@wings-kyoto.jp](mailto:jigy@wings-kyoto.jp)  
**お問合せ** ウィングス京都 ☎212-8013 FAX 212-7460

### 映画

#### 上京区憲法月間「映画のつどい」

**日時** 5月17日(木)  
 第1部 13:30 上映開始(13:00開場)  
 第2部 18:30 上映開始(18:00開場)  
**内容** 第1部 ふたたび SWING ME AGAIN  
 第2部 アントキノイノチ  
**会場** 同志社大学寒梅館 ハーディーホール  
 ※各部ともバリアフリー上映  
 (日本語字幕・音声ガイド(オープン方式)あり)  
**定員** 800名(申込み不要)  
**お問合せ** 上京区役所地域力推進室  
 ☎441-5040 FAX 441-2895

#### 憲法月間映画のつどい 「きな子~見習い警察犬の物語~」

**日時** 5月19日(土)  
 13:30上映開始(13:00開場)  
**会場** ホテル京都エミナス 明治アニバーサリーホール  
 ※バリアフリー上映(日本語字幕・音声ガイドあり)  
**事前申込** 5月11日(金)までに「京都いつでもコール」  
 (☎661-3755 FAX 661-5855 もしくは  
 京都いつでもコールのホームページから)にお申込みください。  
 ※応募多数の場合は抽選  
 参加可能な方には、代表者あてに入場券を送付  
**定員** 400名  
**お問合せ** 洛西支所地域力推進室  
 ☎332-9318 FAX 332-8187

#### 憲法月間/作品展・パネル展・街頭啓発

京都市では、各区役所・支所において、憲法月間の5月に作品展、パネル展や街頭啓発を行いますので、是非お立ち寄りください。

#### 憲法月間 人権啓発パネル展

**期間** 5月1日(火)~31日(木)  
**会場** 伏見区総合庁舎 1階ロビー  
**内容** 人権が尊重されるまちを実現するための取組の一環としてパネル展を開催。  
**お問合せ** 伏見区役所地域力推進室  
 ☎611-1144 FAX 611-0634

**期間** 5月1日(火)~31日(木)  
**会場** 深草総合庁舎 1階コミュニティホール  
**内容** 人権問題についての啓発パネルを展示。  
**お問合せ** 深草支所地域力推進室  
 ☎642-3203 FAX 641-0672

#### 人権啓発書道展

**期間** 5月1日(火)~31日(木)  
**会場** 醍醐総合庁舎 2階ロビー  
**内容** 醍醐支所管内の10小学校から計100点による「人権啓発書道展」を開催。  
**お問合せ** 醍醐支所地域力推進室  
 ☎571-6135 FAX 571-2673

#### 憲法月間 人権マンガパネル展

**期間** 5月1日(火)~31日(木)  
**会場** 下京区総合庁舎 1階ロビー  
**内容** 四字熟語人権マンガ入選作品パネルを展示。  
**お問合せ** 下京区役所地域力推進室  
 ☎371-7170 FAX 361-8893

#### 東山区 小・中学生人権作品展

**期間** 5月1日(火)~31日(木)  
**会場** 東山区総合庁舎 1階展示ホール  
**内容** 東山区内の小・中学生による人権に関する絵画・標語・習字等を展示。  
**お問合せ** 東山区役所地域力推進室  
 ☎561-9114 FAX 541-7755

#### 人権啓発パネル展~被災地を忘れないために~

**期間** 5月7日(月)~25日(金)  
**会場** 中京区総合庁舎 1階市民ホール  
**内容** 被災地への思いを忘れず、また地域の防災力を高め、地域・世代を超えて今回の教訓を共有化するため、被災状況や復旧の取組をパネルで展示。  
**お問合せ** 中京区役所地域力推進室  
 ☎812-2426 FAX 841-8182

#### 憲法月間 街頭啓発

**日時** ①5月10日(木) 11:30~12:00  
 ②5月10日(木) 15:30~16:00  
**場所** 京阪伏見稲荷駅前、ダイエー藤森駅前、京都医療センター前  
 京阪淀駅周辺  
 ③5月16日(水) 14:30~15:00  
 ④5月16日(水) 15:30~16:00  
 ⑤5月24日(木) 16:30~17:00  
 ⑥5月25日(金) 16:30~17:00  
**お問合せ** ①深草支所地域力推進室  
 ☎642-3203 FAX 641-0672  
 ②伏見区役所地域力推進室  
 ☎611-1144 FAX 611-0634  
 ③醍醐支所地域力推進室  
 ☎571-6135 FAX 571-2673  
 ④北区役所地域力推進室  
 ☎432-1208 FAX 441-3282

#### 人権啓発活動補助金

京都市では、人権が大切にされるまちづくりを推進するため、市内で活動する市民団体やNPO法人等が自主的に実施する啓発活動(例:講演会、学習会、映画上映、写真・パネル展示等)に対して、補助金を交付することにより支援を行っています。

- 対象となる啓発活動: 次の全てに該当する活動が対象となります。
  - ・京都市人権文化推進計画に掲げる各重要課題に関するもの
  - ・広く市民に広報しているもの
  - ・京都市内で開催されるもの
  - ・特定の市民、地域を対象としていないもの
- 交付対象: 京都市内に主たる事務所等がある団体等  
 詳しくはホームページを御確認ください。  
[http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/soshiki/6-2-3-0-0\\_15.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/soshiki/6-2-3-0-0_15.html)  
 \*お申込みされる前に、必ず事前にご相談をお願いします。  
**お問合せ** 人権文化推進課 ☎366-0322 FAX 366-0139

### はあと・フレンズ・ストアのご紹介

京都市では、障害福祉施設における工賃アップを目指し、企業連携・施設連携・市民協働によるはあと(授産)製品の開発、生産、販売の新しい事業モデルづくりを行う「はあと・フレンズ・プロジェクト」を実施しています。  
 そのプロジェクトの一環として、社団法人京都産業会館と京都市交通局の協力の下に、京都産業会館地階にアンテナショップ「はあと・フレンズ・ストア」を開店し、障害のある人が関わってつくられたクッキーや手工芸品、アートグッズなどを販売。このストアを中心に、京都市内の障害福祉施設や企業、市民、大学など、たくさんの人たちがつながり、モノづくりに励む障害のある人たちが応援していきます。

#### ご利用方法

- 企業/バリティなど大口注文からロット注文まで
- お世話になった人へのプレゼントに
- 障害福祉施設の技術や素材を活かした製品開発
- こだわり雑貨でデスクをデコレーション

営業時間: 10:30~18:30(19:00まで試行営業中)  
 定休日: 毎週月曜日  
 所在地: 京都市下京区函谷鉾町80番地 きらっ都プラザ京都産業会館地階  
 TEL・FAX: 221-8111  
 E-mail: [heart-friends@cap.ocn.ne.jp](mailto:heart-friends@cap.ocn.ne.jp)  
<http://www.hatarakimahyo.jp/hp/>

はあと・フレンズ 検索  
 twitter follow me on twitter @heart\_friends



【京都市営地下鉄四条駅、阪急烏丸駅下車、26番出口からきらっ都プラザ京都産業会館地階へ直結】



※各会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。